

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	幸ヶ丘小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	5人		◎杉元 豊人	司会進行
開催日	平成26年5月19日(月)		森田 哲朗	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時40分		深草 哲郎	活動報告(経済産業)
会場	幸ヶ丘小学校 体育館		鎌田 豊数	活動報告(市民厚生) 記録・報告書作成
その他			下沖 篤史	音響・資料準備

◎班代表者

意見交換会の内容		□市民の意見	■議員の意見
テーマ①	若者・子どもが暮らしやすい地域づくり		
<p>【意見交換の概要】</p> <p><input type="checkbox"/> 小林には若者の働く場所が無い。小林出身同士の結婚式であれば、地元の式場を活用するなど、式場の努力も必要だが、行政も支援策を工夫してほしい。小林でやることで、いろいろな波及効果があると思う。</p> <p><input type="checkbox"/> 小林市商品券を配付したらどうか。(市の支援策とし、検討できないか)</p> <p><input type="checkbox"/> 幸ヶ丘に住みたいという要望は多いので、市営住宅を増やしてほしい。空き屋等の活用も工夫すべき。</p> <p><input type="checkbox"/> 若い人達が働きやすいネットワークをつくる必要があるのでは。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。</p>			
テーマ②	小林ブランドのPR		
<p>【意見交換の概要】</p> <p><input type="checkbox"/> 生駒地域の発展のためには、農家の収入が上がること。地産・地消で地元の野菜を給食センターで活用してほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 小林市は水が美味しいので、食べ物(作物)が全て美味しいが、小林産であるというPRが足りないのではないか。健康産業時代である。「食べ物で健康づくりを」というようにPRの仕方を工夫したらどうか。</p> <p><input type="checkbox"/> 小林の名産をつくる。佐賀県では、行政がネットを使って販売流通をしている。私達は生産で手一杯なので、行政でできないか。</p> <p><input type="checkbox"/> 健康食材として、産業に結びつけたらどうか。PRを促すべきである。</p> <p><input type="checkbox"/> 小林は特産品がいっぱいあるのに、それを特産品にしていない。提供の仕方、雰囲気づくりなどの研究が必要。また、「土産をどこで買えばいい?」と聞かれても答えられない。特産品の顔と言えるような場所があれば良い。幸ヶ丘はそれにふさわしい地域である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。</p>			

意見交換会の内容

□市民の意見 ■議員の意見

自由意見の交換

- 意見交換会の参加（周知）にもっと力をいれるべき。
- 自由意見については全議員で情報を共有し、今後、一般質問や委員会審査の中に活かしてまいります。
- 冬場、通学路（市道・農道）が凍って、自転車通学生が転倒して危ない。凍結防止剤を置いてもらえば、地元で必要に応じて対処するがどうか。
- 凍結防止剤の配付を建設課で行っています。

議会活動報告への意見 ※特になし